

平成31年
1月発行



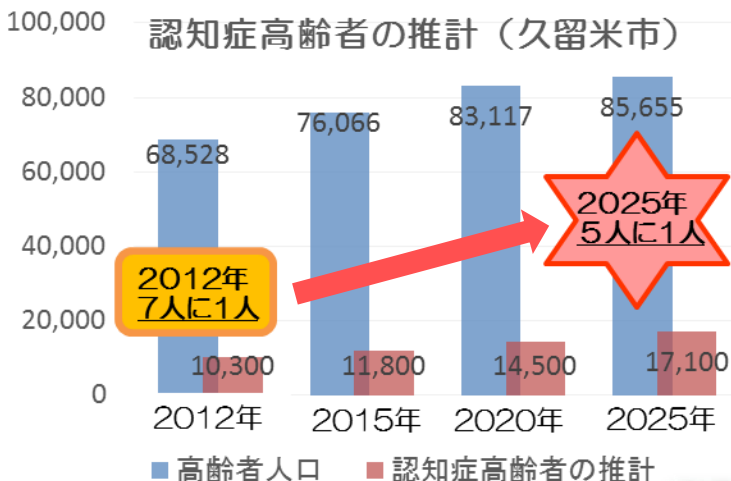
ほうかつだより

回覧

『認知症を正しく理解！』



～ みんなが安心して暮らせるやさしいまちづくりを目指して ～



昨今、認知症は誰もが関わりうる身近な病気となっています。認知症の早期発見・早期対応により症状を軽減したり進行を遅らせたりすることができます。そのためにも、認知症について正しく理解し知識等を身につけることが重要です！

「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」
（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授）による測定値の全国の認知症有病率を基に久留米市を推計。

認知症の理解を深めるための活動の1つとして、認知症で困っている（役の）方に対して望ましい声のかけ方や対応方法を学び、実際に体験する『声かけ訓練』を校区単位で開催しています。

声かけ訓練を通して、認知症を正しく理解し、声のかけ方や対応方法などを学ぶことで認知症の方やその家族を含む地域住民みんなが安心して暮らせるまちづくりを目指しています！

声かけ訓練の参加者より「認知症について理解することができた」「日頃の声かけが大事だと思った」等の感想をいただきました。



こんにちは。何かお困りですか？

実は…道に迷ってしまっ…

声かけ訓練実施中の様子

その他、久留米市では認知症サポーター養成講座や認知症介護電話相談など様々な取り組みを行っています。認知症に関する不安・悩みを一人で抱えず、認知症になっても安心して暮らせるまちを一緒につくっていきましょう！



地域包括支援センターは、地域の皆様や関係機関との協働による高齢者の支援や、地域課題を解決するためのネットワークづくりを目指します。

次回、3月号では『地域ケア会議』についてお伝えします。